

あいまいな日本語(ファイルNo.4)

日本語は曖昧(あいまい)な言語だ、といわれます。たしかに欧米の言語に比べると、厳密さに欠けるところがあるように思えます。修飾語がどの言葉にかかるのかが分かりにくい。これが曖昧さの代表です。

昔からよく例に挙げられるのは「美しい水車小屋の乙女」です。シュールベルトの歌曲の題名なのですが、美しいのは水車小屋なのか、それとも乙女なのか。水車小屋に美しい乙女がいたということでしょうか、それとも、美しい水車小屋に(美しくはない)乙女がいたのでしょうか。常識的に考えれば、「美しい」も「水車小屋の」もともに乙女にかかるのでしょうが、文章の構造としては曖昧です。原題のドイツ語では、美しいのが乙女であることは明らかなのです。日本語訳する時、なぜ「水車小屋の美しい乙女」としなかったのでしょうか。これなら「水車小屋の」も「美しい」ともに乙女にかかるのが分かります。

大江健三郎氏が、川端康成以来二十六年ぶり、日本人では二人目となるノーベル文学賞を受賞したのは一九九四年のことです。

した。大江氏の受賞時の講演は「あいまいな日本の私」という題でした。曖昧なのは私が日本がそこを曖昧にするのがネライなのだ、と指摘したのは井上ひさし氏でした。面白いネライです。その井上氏が、日本語の曖昧さについて、面白い例を挙げていたので次に紹介します。

新聞が国を汚す

ひとつは新聞週間の標語で、実際にあった例です。

「新聞で汚れた国の大掃除」

もちろん「汚れた国を、新聞できれいにする」と言いたいのでしょう。しかし「新聞で汚れた国」を大掃除する、という意味にもとれます。新聞が国を汚しているわけで、大量の古新聞が国中に放置されているイメージが浮かびます。なぜ、「新聞で」と「、」をひとつ入れなかつたのでしょうか。新聞社がこれではどうしようもありません。それこそ、新聞が国を汚してしまおうです。なお、「。」「は句点(くくてん)で、「、」は読点(とくてん)といえます。二つあわせて句読点。

書き言葉には注意を

二つめは井上氏自身が考えた例で、よくできています。こんな例

をよく考え出したものだと感心させられます。

「黒い目のきれいな女の子」

意味を幾通りにもとることができません。考えられる意味を以下に挙げます。

黒い目がきれいな「女の子」

黒い目の「きれいな女の子」

黒い目のきれいな女の「子」

きれいな女の「目の黒い子」

目のきれいな女の「黒い子」

もっと他にもありそうです。

以上の六例のうち、三、五、六は「子」の性別さえ定かではありませんが、素直にとれば、一番目か二番目が妥当でしょうが、正しい意味は前後の文章から推測するしかありません。

日本人なら、あまり意識しなくても、日本語の正しい語順を習得しています。だから「黒い目のきれいな女の子」のような極端な例を除けば、意味の大きな取り違えはないかもしれせん。ただし、日本語の曖昧さは、常に意識していなければならぬでしょう。

話し言葉の場合、その場の雰囲気などから内容が伝わりやすいのですが、書き言葉は事情が異なります。自分が分かっているつもりでも、他人には分からない表現も多いのです。文章を書く時は注意が必要です。

さて、今回の「にほんご探偵局」は正確に意味が伝わったでしょうか。

高性能浄水器  
レンタル継続中!!

安全でおいしい水を  
●たっぷり使えて月々たったの

1,575円(税込)

月々1,575円で美味しく安全なお水を飲みませんか?  
容量が大きいのでふんだんに調理水につかえます。  
トリハロメタン(発がん性)も強力に除去します。



家庭の医学

一口メモ

健康入浴②

食事と風呂

前回は、入浴は熱い湯をさけるのがよいことを紹介しました。疲れをとるためなら、39℃くらいのぬるめ湯に汗が出るまで、ゆつくりとつかります。湯船を出たり入ったりする反復入浴は、身体に酸素が多く取り込まれ、保温効果が高まります。

朝風呂は逆に、熱めの湯がお勧めです。交感神経への刺激で頭がスッキリし、気分も高揚します。ただし、長風呂は疲れてしまいます。朝の入浴は「カラ」の行水」がお勧め。

食事と風呂はどちらが先かという点も、よく問題になります。健康のことを考えるなら、食前が良いでしょう。食後の入浴は心臓に負担がかかります。食後に入浴するならば、食事から1時間半以上あけるようにしてください。

★薄切りトマトのチーズのせ★

〈材料〉トマト、タマネギ、とろけるチーズ

- ①トマトを薄切りにし、少し砂糖をつけ、タマネギのみじん切りをまぶし、とろけるチーズをたっぷりのせる。
- ②オーブントースターで焼き、粗引きコショウと塩をふる。



食欲がなく元気が出ない時に。簡単でおいしい。元気が出ます。

「わが家の自慢料理」にふるってご応募くださるよう、お願いします。採用された方には図書券をプレゼントします。

わが家の自慢料理  
〈大津市 田中啓子様〉